

# 放課後子ども教室だよ

## ごひゃくがわ遊友クラブ・もとみや遊友クラブ訪問

子ども教室充実のために

本宮市では7つの放課後子ども教室が行われています。どの教室でも、体験活動を重視した年間プログラムを作成して取り組んでいます。ごひゃくがわ・もとみや・まゆみ・いわね遊友クラブの本宮地区4教室では、専門知識を持った講師を外部から招き、毎回多彩な活動を展開しています。

### ごひゃくがわ遊友クラブ

本宮市 (11月11日)

ごひゃくがわ遊友クラブは、五百川小学校の多目的教室を利用して毎週水曜日に実施しています。学校の余裕教室を活用することで、校外に出ることなく安全に移動ができます。

訪問当日は「ポップりづくり」が行われました。講師（押し花アーティスト）の方が持参された数種類のドライハーブに、子どもたちは「いい香り～」と笑顔を見せていました。作業は、ドライハーブを入れたお茶パックを布と絵を描いた不織布で挟み、ボンド付けをするものでした。布と不織布はあらかじめ切りそろえられており、子どもたちはマジックで絵を描きボンドで貼り付けるだけの作業のため、1年生であっても容易に作成することができていました。ポップりを完成させた子どもたちは、周囲のスタッフに満足そうに見せるなど、一人一人が成就感を味わうことができていました。



### もとみや遊友クラブ

本宮市 (11月13日)

もとみや遊友クラブは、本宮小学校の作法室などを利用して毎週金曜日に実施しています。低学年を中心に70名近くの登録があり、7名のスタッフで運営しています。

訪問当日は「おむすびにぎろう」が行われました。外部講師として市職員の栄養士を招いての食育です。子どもたちは新米が炊きあがった香りに歓喜し、一口食べその甘みを実感するとともに、自分でにぎったおにぎりをおいしそうにほおぼる姿がとても印象的でした。ただおにぎりを食べるだけでなく米ができるまでの過程や、うるち米ともち米の違い、玄米の精米の仕方なども図や実物を用いながら学習しました。しかし話を聞いて学ぶこと以上に、米の感触や香り、味などを五感で実際に体験したことを通して学んだことの方が多かったようです。放課後子ども教室のねらいである、多様な体験・活動が行われていると、訪問を通して感じました。

